

平成 31 年 2 月 4 日

JASV 会員各位

一般社団法人日本養豚開業獣医師協会（JASV）
代表理事 呉 克昌

岐阜県における飼養衛生管理基準の再点検への JASV 獣医師の同行について

拝啓 立春の候、皆様におかれましては日頃より JASV の活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

1 月 29 日に岐阜県における豚コレラ 7 例目の患畜確認および 7 例目関連農場での感染確認があり、豚コレラ対策は新たな局面を迎えています。

一部報道でご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、農林水産省動物衛生課は 1 月 31 日に自民党で実施された家畜防疫対策本部会議において、今後の豚コレラ侵入防止対策の 1 つとして、飼養衛生管理基準の再点検について岐阜県家畜防疫員だけでなく、第三者（国、他県、養豚指導の経験獣医師等）も伴って遵守状況の確認を行うことを掲げております。

これに先立ち、1 月 30 日に農林水産省より、「JASV 獣医師に再点検へ同行してもらい、その際に農場に対応すべき対策を指導するとともに、家畜防疫員にもそのポイントを指導してもらいたい」との依頼がありました。

それを受け、JASV 役員で緊急相談を行い、農林水産省からの依頼に対しては全面的に協力を約束することを決定いたしました。現在、具体的な人員と日程の調整に入っているところです。皆様におかれましては、事後報告になりましたことを火急の対応としてご理解をいただきたくお願い申し上げます。

また、今回の同行に当たっては、農林水産省が豚コレラ発生時において定める防疫期間に準じて、同行者の防疫期間は岐阜県の農場に入った後 3 日間を基本として対応いたします。

今後も豚コレラの対応について大きな進展がありました場合には、皆様には随時情報共有をさせていただきたいと思っております。ご理解、ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具